汎用超音波画像診断装置　仕様リスト

1. 超音波診断装置本体
1 - 1　装置本体の概要に関して以下の仕様を満たすこと。
1 - 1 - 1　奥行き89cm、幅56cm以下である。
1 - 1 - 2　本体重量は周辺機器なしで104kg以下である。
1 - 1 - 3　観察用モニタは23.8インチ以上である。
1 - 1 - 4　タッチパネルサイズは15.6インチ以上である。

1 - 2　Bモードに関して以下の仕様を満たすこと。
1 - 2 - 1　深度全体にわたり送受信ビームプロファイルを集束させることで、専用の送信フォーカス制御を不要にする技術を有する。

1 - 2 - 2　音速の不均一性による超音波波形の歪みを補正し、より鮮明で高コントラストな画像を生成できる。

1 - 3　Mモードに関しては以下の仕様を満たすこと。
1 - 3 - 1　2D画像内の任意の直線に基づくアナトミカルMモードが可能である。

1 - 4　カラー/パワードプラモードに関して以下の仕様を満たすこと。
1 - 4 - 1　超音波波形の歪みを補正し、ジェットの輪郭を鮮明化、浸透性を向上させる機能を有する
1 - 4 - 2　色信号の強度に基づく陰影処理を施すことで、2Dカラーフロー画像に3D風の外観を付加できる。

1 - 5　3D/4Dモードに関して以下の仕様を満たすこと。
1 - 5 - 1　Bi-planeおよびTri-plane機能を有する。
1 - 5 - 2　シングルビートおよびマルチビート（心電図同期）機能を有する。
1 - 5 - 3　左心室および左心房の容積および駆出率を同時に定量化する半自動ツールを有する。
1 - 5 - 4　右心室の容積、駆出率、径、TAPSE、およびRV FACを定量化する半自動ツールを有する。

1 - 6　計測に関して以下の仕様を満たすこと。
1 - 6 - 1　心電図の有無にかかわらず取得されたシネループに対して、バイプレーン・シンプソン法を用いて左心室駆出率を自動測定するAIツールを有する。
1 - 6 - 2　傍胸骨長軸画像において、左心室径、壁厚、駆出率(EF)、短縮率(FS)などを測定するAIツールを有する。
1 - 6 - 3　標準的な心エコー検査で使用される代表的なスペクトラルドプラ測定を自動で提供するAIツールを有する。また、適切な測定ツールが自動選択され、ツール起動までの操作ステップを削減できる。
1 - 6 - 4　左心室のグローバルおよびセグメントストレイン、ならびに駆出率(EF)を自動で測定するAIベースのツールを有する。
1 - 6 - 5　左心房のリザーバーストレイン、コンジットストレイン、能動収縮ストレイン、および左心房容積を定量化する半自動ツールを有する。
1 - 6 - 6　右心室のグローバルストレイン、自由壁ストレイン、およびTAPSEを定量化する半自動ツールを有する。

2　プローブ
2 - 1　心臓用電子セクタは以下を満たすこと。
2 - 1 - 1　周波数帯域は、1 - 5 MHzである。
2 - 1 - 2　視野角は120°である。

2 - 2　高周波心臓用電子セクタは以下を満たすこと。
2 - 2 - 1　周波数帯域は、2 - 8 MHzである。
2 - 2 - 2　視野角は115°である。

2 - 3　心臓用3次元電子セクタは以下を満たすこと。
2 - 3 - 1　周波数帯域は、1 - 6 MHzである。
2 - 3 - 2　視野角は90°である。

2 - 4　3次元経食道プローブは以下を満たすこと。
2 - 4 - 1　周波数帯域は、3 - 8 MHzである。
2 - 4 - 2　視野角は90°である。

3　記録機器
3 - 1　白黒プリンターの仕様は以下を満たすこと。
3 - 1 - 1　印刷方式は感熱記録方式である。
3 - 1 - 2　階調は256階調以上である。
3 - 1 - 3　本体パネルから操作可能である。

4　周辺機器
4 - 1　周辺機器の仕様は以下を満たすこと。
4 - 1 - 1　外部ECG入力ケーブルを有する。
4 - 1 - 2　実効4TBのNAS、UPS、ハブを有する。

5　その他
5 - 1　その他仕様については以下を満たしていること。
5 - 1 - 1　超音波診断装置：MWM/Storageのシステム連携費用を含むこと。